

リーディングDXスクール事業【実践事例】

興本扇学園 足立区立興本小学校（東京都）

【取組内容②】 第2学年生活科「まちが大すき たんけんたい」 檜原村の小学校とのオンライン交流授業

2年生生活科の単元「まちが大すき たんけんたい」では、自分たちが住んでいる足立区の学校の周りの様子と東京都檜原村の様子を紹介し合う活動を設定した。Googleスライドを活用して紹介スライドを作成するか、画用紙を活用して紹介カードを作成するか児童に選択できる環境を整えた。Googleスライドを共同編集することは初めてだったが、手書きで文章を作成したり、スライドに合う写真を撮って活用したりすることができた。

また、地域の様子を紹介するだけの交流にならないよう、Google Meetを活用してオンラインで相手の表情を見ながらやり取りをすることを大切に、相手を意識しながら発表したり、質問したり、感想を伝えたりする活動ができた。



成果

- ・オンライン交流学习を通して、他の地域と自分たちの町を比較することで、それぞれの地域の良さに気付くことができた。
- ・実際の写真を見せ合うことで、それぞれの地域の特徴が明確になり、理解につながった。
- ・タブレットを活用して共同編集することにより、短時間で作業ができた。
- ・Googleフォームの活用をして振り返りを共有することで、良い考えを広げたり、事後の活動への意欲を高めたりすることにつながった。

課題

- ・事前に機器の設定を確認したり、教師同士での打ち合わせをしたりする準備が必要であった。
- ・スライドの作成のスキルに差があり、個に対応した教師の細やかな指導が必要であった。
- ・手書きで文章を入力をする児童が多かったため、時間がかかった。